まえがき

1 総論——科学／技術と生活空間……村上陽一郎……1

一 伝統技術と生活空間 2

二 近代技術の基礎 7

三 現代技術と生活者 18

おわりに 26

2 西欧科学受容の日本的特性……金子務……29

一 二つの自然イメージと科学の方法 30

二 南蛮文化と学問の制度化——儒装廃止と新学者層の拡大 34

三 科学受容の事例的考察 39

四 職人と学者層との乖離 48

3 科学／技術の天国と地獄……武部俊一……59

一 躍進の世紀か、悲哀の世紀か 60

二　リスクとチャンス　66
三　プルトニウムの戦争と平和　70
四　温室効果の功罪　73
五　化学物質のボルジア効果　78
六　すばらしい新世界か　83
七　究極の絶滅リスク　86

4　価値観と科学／技術……加藤尚武……91
——心情的技術批判から政策的ガイドラインへ

一　「技術が新しい価値観をもたらす」と言えるか　92
二　「技術から生まれた否定的外部性は技術的に修正可能だ」と言えるか　98
三　技術の「中立性」をめぐる議論の整理　103
四　技術評価の主体性——「啓蒙と技術」という枠組み　106
五　ビッグブラザーとフランケンシュタイン　115

5 共振する芸術と科学……伊藤俊治……123
一 芸術と科学のインターフェイス 124
二 科学と自然のダイアローグ 128
三 振動するヴィジョン 131
四 イメージ・プロセス・パターン 134
五 芸術と科学の新しい風景 139
六 芸術と科学のマトリクス 144
6 フェミニズムと科学／技術……小川眞里子……151
はじめに 152
一 「客観的知識の神話」と『女らしさの神話』 154
二 「女性」から「ジェンダー」へ 157
三 乳房と骨盤と家父長制 166
四 フェミニズムと科学技術 171

むすび　174

7　相対主義と科学／技術……横山輝雄……181

一　現代思想と相対主義　182
二　「もう一つの技術」「対抗技術」の思想　184
三　「もう一つの技術」と相対化の水準　188
四　社会構成主義による原理的相対化　190
五　社会構成主義批判と「サイエンス・ウォーズ」　192
六　「科学の理念」をめぐる諸見解　196
七　「科学の理念」の忘却と科学者集団の変質　200
八　科学／技術と文化的多元性　202

8　科学／技術とパブリック・アクセプタンス……山本眞一……209

はじめに　210
一　科学技術はなぜ受容ということが問題となるのか　211

二　OECD国際シンポジウムの開催　214
三　科学技術研究人材の養成・確保と若者の科学技術への関心　218
四　科学技術「生産者」のアカウンタビリティー　220
五　科学技術を伝える人の重要性　223
おわりに――社会的受容増進の方向性　226